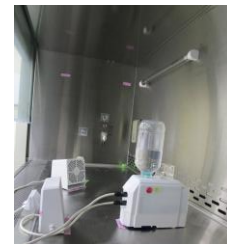


## <方法>

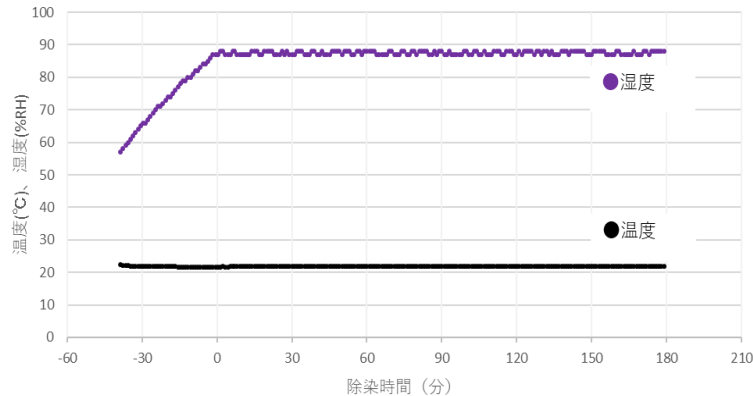
FOGACTを用いた除染においてTrue Indicating社製 BI (Biological Indicator) を設置し、BIの定性評価および定量評価を行った。



写真, 除染中の様子

使用除染装置	FOGACT (小型庫内用過酢酸除染システム) メーカー：ニッタ株式会社
除染対象	PHC製安全キャビネット MHE-181AB3-PJ 型式：クラスIIタイプA/B3 (23±1.5°C、50±5%RHの部屋に設置)
薬剤	過酢酸系除菌剤 スポアクレンズRTU
FOGACT設定条件	ターゲット湿度：88%RH 除染時間：0~180分
Biological Indicator	メーカー：True Indicating社 型式：SDGT-06 菌種： <i>G.stearothermophilus</i> ATCC#12980 初期菌数：10 <sup>6</sup> CFU
培養液	メーカー：True Indicating社 型式：PMG-100

## <除染中の温湿度>



図, 除染中の温湿度推移(FOGACTセンサ)

## <BI 評価>

### ○定性試験

…BIの菌を専用培養液で培養し、陰陽を判断する。

▶ 180分の除染でBI陰性(死滅)が確認できた。

表, 定性試験結果

		定性判定
除染時間(分)	30	陽
	60	陽
	180	陰

30分  
陽性



60分  
陽性



180分  
陰性

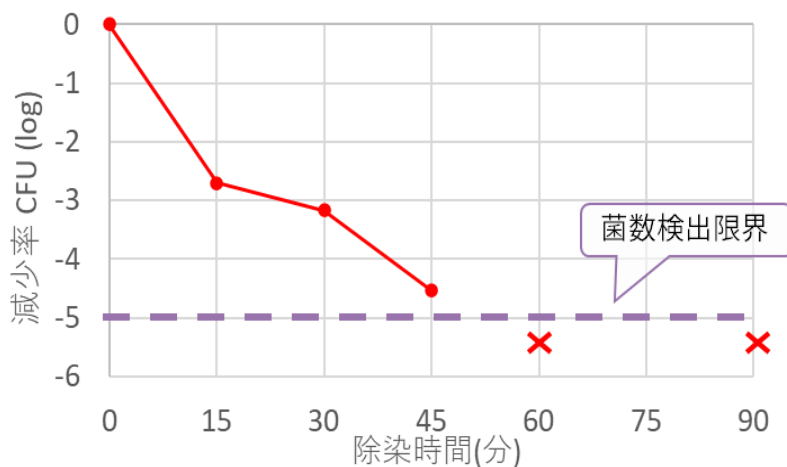


写真, 定量試験培養結果

### ○定量試験

…BIの菌を抽出後、寒天培地で培養し、生菌数をカウントする。

▶ 除染時間に伴い菌数の減少が見られた。  
※菌数検出限界：-5 CFU (log) 以下



図, 死滅菌数の推移